

# Information 7

ペットを飼う上で必ず出てくるワード

“避妊・去勢” についてのお話♪

避妊は**女の子**の手術で、**卵巣及び子宮の摘出**  
去勢は**男の子**の手術で、**精巣を摘出**

- 目的**は**3つ**
- ① 「望まれない妊娠を避けるため」
  - ② 将来的に起こる可能性のある「性ホルモンに関する病気」の予防
  - ③ 性ホルモンによって誘発される「問題行動」の防止

手術は元気・食欲に問題がなければ基本いつでもできます。

ただ、問題行動&初回発情を起こす前の

**生後6ヶ月齢前後**が望ましいと考えられています。

なぜなら、問題行動を起こしていた期間が長い程術後の改善がみられない傾向  
早期に摘出することで病気の発症率に差が出るからです。

?手術する**デメリット**と**メリット**は?



## デメリット

- ◆**全身麻酔** 麻酔なので、リスクが0%ではない
- ◆**肥満** 代謝の関係で必要カロリーの減少や運動量の低下から肥満傾向に…日々の体重管理が大切!!
- ◆**尿失禁** 大型のメス犬に起こりやすい。
- ◆**縫合糸のアレルギー** 縫合糸にアレルギー反応が出てしまうことがある

## メリット



手術目的の3つが当てはまります。②について詳しくお話します。

### \*ホルモンに関する病気\*

卵巣・精巣から分泌される性ホルモンによって、多くの病気が起こる

- ♀：**子宮蓄膿症** 子宮内にバイ菌が入り、膿がたまってしまう病気。  
生理が終わってから8~10週経った頃が要注意!!  
多飲多尿・食欲不振・元気消失・嘔吐・下痢  
外陰部から膿が出ることも。
- ：**乳腺腫瘍** 10歳齢以上の子に多く診られ、犬50%・猫85%が悪性  
と言われます。患部に触れて確認することが可能。  
腫瘍の痛みから、動かない・食欲不振等の症状がある。

♂：**前立腺肥大症** 老齢の犬に診られ、ほぼ無症状。  
排便回数増加・しぶり・排尿のしにくさなどがある。

：**精巣腫瘍** 腫瘍は3種類あり、他の臓器に転移してしまうことも…  
また精巣がお腹の中にとどまってしまふことを“潜在精巣”。  
潜在精巣の場合通常よりも約10倍の確率で腫瘍化しやすい。



避妊去勢は、繁殖能力が無くなる事、全身麻酔などに

抵抗や不安を感じることもあるかと思いますが。

ですが、得られるメリットの方が多いためお勧めします。

何か不安なことや相談したいことがあれば気軽におっしゃって下さい。

その子のために家族皆さんで話し合い、

愛のある選択をして幸せに過ごしましょう。

